

右爲給分守先例可有知行之狀如件

文安四年閏二月廿八日

助阿闍梨御房

〔岩松文書〕岩松左京大夫望申闕所注文上州忍府下總入道跡之事同國師岡郷北一揆秋間跡武州新開郷事新開加賀守跡

享德四年閏四月八日

〔圓覺寺所藏文書〕就屋形出陣可有精誠祈禱仍武州稻毛庄鞠兒郷山玉參錢事淺草輪藏堂江我等致申沙汰永代御寄進候也然者於以後傍輩中時之代官以下狼藉不可有邪儀彼輪藏堂停止諸役年始歳末御出陣之御祈禱簡要候仍證狀如件

文明九年丁酉五月十四日

如意藏主禪師 式部尉治家 隼人佐常秀

〔廻國雜記〕まりこの里にてよめる

東路のまりこの里に行かゝりあしもやすめすいそぐ暮かな

〔武藏志料〕まりこ 丸子 橘樹郡

今思ふにまりこはすなはち今の丸子郷也上丸子中丸子村は橘樹郡に有之下丸子村は荏

原郡に有川崎宿の西北にあたる

〔新編武藏風土記稿〕百四十八南下谷村 中下谷村 北下谷村

大行院所藏文書略

武州中崎西之内自戸崎郷下之事年行事職可申付之由儘事候仍證狀如件

永正十一年甲戌七月一日 尊能花押

大圓坊